JANPIA
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金活用事業

2026年11月13日

Press Release
報道関係各位

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

休眠預金等活用法に基づく2026年度活動支援団体の決定
～民間公益活動の担い手を支える4事業を選定～

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（所在地：東京都千代田区、理事長：二宮 雅也、英文名：Japan Network for Public Interest Activities、略称：JANPIA）は、休眠預金等活用法に基づく2026年度の活動支援団体を決定しました。
活動支援団体とは、JANPIA からの助成を受けて、［民間公益活動の担い手または、将来的に担い手を目指す団体（支援対象団体）］に対して、事業の実施や組織運営に関する課題解決を目的として、専門的なアドバイスや支援を行う団体です。

今回の公募には、19 事業（19 団体）からの申請があり、審査の結果、4 事業（4 団体）を活動支援団体として選定しました。内、資金支援の担い手育成を対象とする事業が 3 つ、民間公益活動を実施する担い手を対象とする事業が 1 つとなっています。助成期間は最長 3 か年で、助成総額約 1.9 億円となります。
※事業区分別の活動支援団体名とその事業名は別表の通りです。

今後、採択された各活動支援団体は、支援対象団体の公募、審査、選定を行い、支援対象団体が今年度中に活動を開始する見込みです。なお、各活動支援団体の事業の詳細や支援対象団体の公募などの情報は、順次 JANPIA のウェブサイトや休眠預金活用プラットフォームにて公表予定です。

■今後のスケジュール（予定）

活動支援団体による支援対象団体の公募・選定	各活動支援団体において体制が整い次第順次開始
活動支援団体による活動支援プログラムの実施	支援対象団体選定後順次実施

＜本件に関する報道関係からのお問い合わせ先＞
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）企画広報部
TEL：03-5511-2026　Mail：press@janpia.or.jp

（別表）選定された活動支援団体とその申請事業名一覧

団体名	申請事業名	対象地域	助成予定額
資金支援の担い手の支援			
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	地域主体の災害支援基盤形成事業	全国	0.35億円
公益財団法人 ちくご川コミュニティ財団	地域における伴走支援の基盤強化事業	福岡県、佐賀県、熊本県、大分県	0.50億円
特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ	こども食堂地域ネットワーク団体の重層的伴走支援と市町村域ネットワーク形成推進事業	全国	0.51億円
民間公益活動を実施する担い手の支援			
特定非営利活動法人 ボランタリーネイバーズ	かなめびと（組織運営のコアスタッフ）育成と定着による持続可能な組織づくりモデル構築・地域展開事業	長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	0.55億円

※ 助成予定額は億円単位で表示し、百万円未満を四捨五入しています。

その他の申請団体の情報は、公募結果ページに掲載しています。
実行団体の公募などの情報は、順次実行団体・支援対象団体の公募（休眠預金活用プラットフォーム）にて公表予定です。

[審査のポイントについて]～審査会議における審査委員コメントから

審査においては、以下のような点が論点となった。
・申請団体が持つ経験・ノウハウの蓄積状況、それらを他団体への伴走支援に活用できるか
・組織基盤強化や研修等を通じて、支援対象団体が能力をどのように獲得していくことができるか
・個別団体への支援を超えた支援のその先に向けた戦略性（持続性他）や波及効果への期待が持てるか
・重要な社会課題の取り組み、申請団体が持つ多様な専門性・アプローチへの期待ができるか
・支援が、支援対象の能力形成や組織・活動の変化にどう結びつくか（変化に至る道筋）